

富山県中小企業ビヨンドコロナ補助金

(第1次募集・第2次募集)

取組事例集

令和5年12月



富山県中小企業ビヨンドコロナ補助金 (第1次、第2次募集)

<事業概要>

<p>対象者</p>	<p>新型コロナ又は物価高騰の影響を受け、売上高が減少又は利益率が減少(Δ5%以上)した、県内に主たる事業所を置く(本社登記が県内) ①中小企業者、小規模企業者 ②NPO法人、医療法人 ③組合(中小企業等経営強化法に基づくもの)</p>															
<p>対象事業</p>	<p>○通常枠 ①デジタル化 非接触ビジネスの展開、テレワーク、オンライン会議システム等のリモート化 ②販路開拓・売上向上 新たな販売チャンネル展開、テイクアウト・デリバリー対応、オンライン商談会・見本市参加 ③新商品開発 商品開発、研究開発費、製造設備整備 ④環境改善 感染症、熱中症対策、働き方改革、人材育成等</p> <p>○特別枠 ①企業間連携「ワンチームとやま」 複数企業が連携した新ビジネス創出や生産性向上事業 ②販路開拓・売上向上 業態転換による新市場開拓や事業承継による新事業立上げ ③DX ビジネスモデルの変革や業務プロセスの最適化を図る事業で、事業完了後1年以内に、労働生産性が3%以上向上することが見込まれるもの</p> <p>○省エネ・コスト削減枠 燃料・電力の消費抑制又は原材料費の削減を図る事業で生産コストを低減することが見込まれるもの</p>															
<p>補助率等</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>補助事業</th> <th>補助率</th> <th>補助上限額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>通常枠①②③④</td> <td>中小・組合 2/3 小規模 3/4</td> <td>上限 100万円 下限 10万円</td> </tr> <tr> <td>特別枠①②</td> <td>中小・組合 3/4 小規模 4/5</td> <td>上限 200万円 下限 50万円</td> </tr> <tr> <td>特別枠③</td> <td>中小・組合 2/3 小規模</td> <td>上限 300万円 下限 100万円</td> </tr> <tr> <td>省エネ・コスト削減枠</td> <td>中小・組合 2/3 小規模 3/4</td> <td>上限 300万円 下限 10万円</td> </tr> </tbody> </table>	補助事業	補助率	補助上限額	通常枠①②③④	中小・組合 2/3 小規模 3/4	上限 100万円 下限 10万円	特別枠①②	中小・組合 3/4 小規模 4/5	上限 200万円 下限 50万円	特別枠③	中小・組合 2/3 小規模	上限 300万円 下限 100万円	省エネ・コスト削減枠	中小・組合 2/3 小規模 3/4	上限 300万円 下限 10万円
補助事業	補助率	補助上限額														
通常枠①②③④	中小・組合 2/3 小規模 3/4	上限 100万円 下限 10万円														
特別枠①②	中小・組合 3/4 小規模 4/5	上限 200万円 下限 50万円														
特別枠③	中小・組合 2/3 小規模	上限 300万円 下限 100万円														
省エネ・コスト削減枠	中小・組合 2/3 小規模 3/4	上限 300万円 下限 10万円														

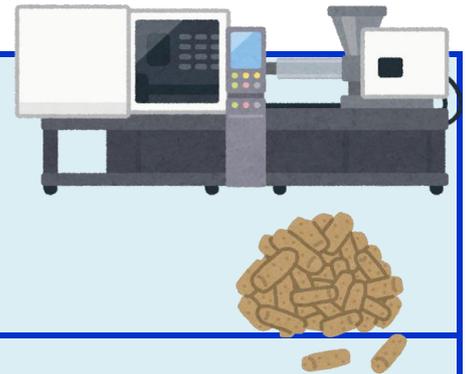
1 新たな原材料を用いたバイオマスプラスチック製品の開発

事業概要

従来破棄されていたバイオマス資源から製造したプラスチック製品の成型試作

事業の課題・問題点

- ・ 新たな原材料を用いたペレットを使用した場合、従来の製品よりも柔らかくなり成型ムラが発生するため、製品強度や精度において課題がある。
- ・ 成型時に熱を加えることにより臭気や煙が発生する。



<p>補助金の活用内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 製品の成型金型の改良 試作成型を行いながら金型の加工・調整を実施 ・ バイオマスプラスチック原材料の試作 配合調整や添加剤の調合を行い原材料を完成 ・ 屋外への排煙システムの設置 成型機上部に排煙システムを導入
<p>改善内容 効果・成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ バイオプラスチック原材料による製品が完成 ・ 廃棄されるバイオマスを活用し製品を製造することにより、再生可能資源を活用した持続可能で環境に配慮したものづくりシステムを構築 ・ SDGsに取り組む企業として、持続可能な社会の実現に向けた具体的な姿勢を示すことに成功

和服縫製業・縫製用機器開発・販売業

2 端材の生地を用いた新商品の開発による産業廃棄物の削減及び産業観光を視野に入れた体験教室の運営

事業概要

和服の縫製の際に出る細長い端材を再構築して作製（裂き織り）した布で新商品を開発。また、現在取り組んでいる体験教室のメニューに「裂き織り体験コース」を追加

事業の課題・問題点

- ・ 商品生産の過程でかなりの量の生地が産業廃棄物になってしまう。



<p>補助金の活用内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 織り機の導入 製品開発のほか、社内研修等も行い社員の技術習得を促進 ・ 技術習得 技術習得のため、手織り職人のもとへ社員を派遣 ・ SNSでの広告を実施 広告デザインや、SNS用の商品写真の撮影を実施
<p>改善内容 効果・成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 縫製の過程で発生する廃棄物で新たな商品を製作することで産業廃棄物を削減 ・ 自社ブランドとして販売し、SDGsに関心の高い顧客を獲得

3 金属レーザー加工機導入による独自ブランド品の開発

事業概要

既存の金属への着色事業に、レーザー加工機による模様・文字入れ加工をプラスすることで受注単価の引上げ及び自社オリジナル製品の開発

事業の課題・問題点

- ・ 業界全体の売上が急速に減少していることから、事業の複線化と収益性の向上が必要
- ・ 業務範囲の拡大と自社ブランド商品の開発による下請け的な業態からの脱却が課題



補助金の活用内容	・レーザー加工機の導入 金属板への模様・文字入れ加工のため、レーザー加工機を導入
改善内容 効果・成果	・レーザー加工機を用いた新商品を開発し、イベント等で販売 ・既存発注先からのレーザー加工に関する発注も増え売上が増加

1 直営飲食店での販売から、卸売販売への転換

事業概要

お酒の卸売専用の業務用ECシステムを導入し、新たな販路を構築

事業の課題・問題点

- ・ コロナ禍により直営飲食店の売上が減少し、お酒の売上が不安定化
- ・ 卸売販売のための受注・請求に係る人員及び流通用容器が不足



<p>補助金の活用内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 業務用ECシステム導入 ・ お酒に特化したB to B用ECシステムを導入 ・ 流通用容器の導入 ・ 異物混入を防ぐため、蓋のない流通用の容器を導入
<p>改善内容 効果・成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 受注・請求に係る事務負担を増やすことなく、新規卸売先を開拓 ・ 直営飲食店で販売しきれない過剰生産分を卸売販売し、売上増加

環境改善

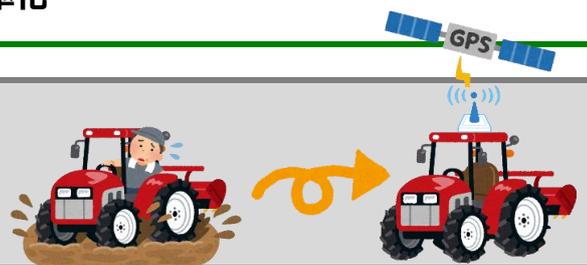
1 農機の自動操縦システム化による作業効率アップと収穫量増加

事業概要

農機の自動操縦システム導入による農作業効率化

事業の課題・問題点

- ・ 米の生産目標の減少及び買取価格の大幅下落
- ・ 人員に限りがあり、急激な管理面積の増加が困難
- ・ 農業従事者の減少と高齢化



<p>補助金の活用内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自動操舵システムの導入 ・ 農機の自動操舵システムを導入し、従来人が行っていた運転作業を機械化
<p>改善内容 効果・成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運転作業を自動化することにより農機への乗車人数を削減 ・ 運転が不要となったことで別作業を同時並行で行えるため、作業時間が大幅に削減され、労働生産性が向上 ・ 自動操舵の高精度な直進性能により正確な植え付けが可能となり、面積当たりの収穫量が増加

1 電動アシストシェアサイクルの導入によるパーク・アンド・サイクルライド事業

事業概要

駐車場内にシェアサイクル専用電動アシスト自転車を導入し、パークアンドサイクルライド事業を実施

事業の課題・問題点

- ・ 人口動態の変化等により、中長期で駐車場の利用者数に大きな伸びが期待できない。
- ・ 駐車場は立地、価格、融雪装置の有無以外での差別化が難しい。



補助金の活用内容

シェアサイクル専用電動自転車及び付帯設備の導入、看板等製作費

取組み内容

駐車場にスマートロックを装備したシェアサイクル専用電動自転車を導入し、高付加価値化による駐車場稼働率や顧客単価の向上

事業の効果、成果

- ・ 公共交通空白地の多い地域において、近距離移動の交通利便性や快適性を向上し、近隣駐車場との差別化に成功
- ・ コロナ禍において、人との接触機会を回避する移動手段として一定の需要が見込める。
- ・ 二酸化炭素削減や渋滞緩和にもつながり、地球温暖化対策にも貢献

2 新聞配達支援システムの導入による配達効率化と配達員交代の円滑化及び営業効率の向上

事業概要

新聞配達支援システムの導入による配達、集金、営業の効率向上

事業の課題・問題点

- ・ 配達員の高齢化により配達員の交代は避けられないが、交代により配達ルート等のノウハウが失われる。
- ・ 配達、集金の順路の見直しができおらず、効率の悪い順路を使用している可能性がある。
- ・ 顧客からの依頼内容を社内共有できていないため、漏れや重複が発生



補助金の活用内容

新聞配達支援システムの導入

取組み内容

新聞システムと連動したスマートフォンアプリを導入し、効率的な配達順路の編成及び順路に沿った自動案内で新聞配達・集金を効率化。また、営業日報、営業履歴をデジタル化し、システム上で管理・共有することで営業効率アップ

事業の効果、成果

- ・ 土地勘が無くても配達・集金が可能となり、配達員の交代に係る労力が軽減
- ・ GPSを用いた配達漏れの監視により確実な配布を実現
- ・ 営業日報の音声入力も可能となり入力時間が短縮
- ・ システム上で契約内容や営業履歴の参照が可能となったため、目的達成率がアップ



1 新分野への進出による収益の柱の構築

事業概要

古民家を利用した宿泊業・飲食業への転換による収益性の改善

事業の課題・問題点

- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響で商談の機会が減少し、新規受注が減少
- ・ ウッドショックにより原価率が悪化
- ・ 業界全体としてコロナ以前の状況に戻る可能性が低い。



補助金の活用内容

古民家の蔵のリノベーション

改善内容

古民家を改装した宿泊施設に併設している蔵を飲食店として活用し、地元食材を提供するほか、テイクアウトにも対応し、事業の収益性を改善

事業の効果、成果

- ・ 地域の賑わい創出のほか、周辺事業者との連携、地元食材の活用等により新たな経済波及効果もあった。
- ・ もともと使用されていた木材や構造をなるべく再利用したバリアフリー設計とすることで、木造建築の伝統工法のすばらしさを伝える拠点となった。

タクシー業、運転代行業

2 既存事業との相乗効果を狙った関連分野への進出

事業概要

車両の自社整備による経費の削減及び自動車整備事業の展開による売上改善

事業の課題・問題点

- ・ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大による観光タクシーの利用減少、テレワーク等の導入によるビジネス利用の減少、飲食店の営業自粛等による運転代行の利用減少
- ・ 売上が減少しているなかで、営業に係るコストの削減による利益の確保が必要

補助金の活用内容

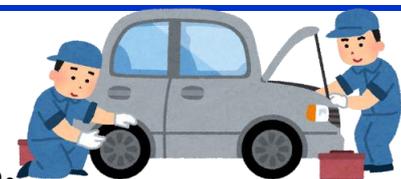
自動車整備工場の設備整備

改善内容

自動車整備工場を立ち上げ、自社整備を行うことにより保有車両の整備コストを削減

事業の効果、成果

- ・ 既存事業のコストの削減に成功
- ・ 自社保有車以外の車両整備も行うことにより新たな売上の柱を確立
- ・ 整備工場の立上げに伴う雇用拡大により地域経済への波及効果が期待できる。



企業間連携

宿泊業、飲食業、エステ業、伝統工芸産業、食品製造業

1 各社の強みを生かした高付加価値サービスの企画開発 (異業種連携)

事業概要

観光・宿泊地を選ぶ際に重要となる「食」、「体験」、「客室（空間）」について、連携事業者が1テーマずつ担当し、宿泊プランを企画

取組み内容

観光・宿泊地を選ぶ際に重要となる「食」、「体験」、「客室（空間）」のうち、「食」を飲食業、「体験」をエステ業、伝統工芸産業、食品製造業、「客室（空間）」を宿泊業が担当し、組み合わせることで他の宿泊施設と差別化した満足度の高い宿泊プランを企画。企画した宿泊プランの満足度を高めるための施設改修及び魅力を伝えるためのサイト制作を実施

補助金の活用内容

プランコーディネート、Webページデザイン、施設改修

事業の効果、成果

- ・ 地場の良いものを選んで「食」「体験」を交えて提案することで、新たな顧客開拓につながる。
- ・ 宿泊施設を拠点とし、まちなかで「体験」を提供することにより、顧客の回遊性を生み出し、地場の飲食、小売、サービス業等にもメリットがあり、地域振興に寄与

伝統工芸産業

2 同業者や関連事業者等が連携した新商品開発及び販路開拓

事業概要

伝統工芸品の職人、問屋、組合等が連携し、ブランド化のための新商品開発と販路開拓を実施

取組み内容

伝統工芸品の製作環境を維持・継続させるため、高品質で高い価格設定が可能な新商品を開発し、ブランド力の創出・確立を図る。具体的には、商品デザインの考案、原型・複製用型の作製、名称、ロゴ、パンフレット等の作製、商標登録、展示会出展等を実施。

補助金の活用内容

デザイン費、原型・複製用型作製、パンフレット等作製、商標登録

事業の効果、成果

- ・ 適切なブランディングで、作り出す商品の価値や設定価格を高めることができた。

3 観光施設が連携し、SNS環境の構築&スタンプラリーの実施

事業概要

SNSでの基礎フォーマットを統一し、情報共有とイベントの共同実施体制強化
デジタルスタンプラリーによる誘客と各施設の宣伝を実施

取組み内容

複数の同業観光施設でSNSの情報発信基盤を整備し、SNS投稿フォーマットを統一
共同でデジタルスタンプラリーを実施し、観光施設の魅力を発信し誘客を図る。



補助金の 活用内容

SNS基盤構築費用、デジタルスタンプラリー開催費用、イベント広告費用

事業の効果、成果

- ・ SNSの情報発信基盤の構築により、今後の連携イベントの開催や情報発信の体制を確立
- ・ SNSで県外への発信も行ったことにより、県外参加者が参加者全体の1/3に達し、新たな県外顧客の開拓に成功

1 AIを活用した検査工程の自動化

事業概要

AI搭載画像判別センサを備えた自動選別機を導入し、検査工程を自動化

事業の課題・問題点

- 目視での製品検査に時間がかかり、検査工程で製品があふれてしまうため生産機械を停止せざるを得なくなる。また、目視検査での見落としが不良流出の原因となっている。
- 需要も製造機の生産能力もあるにも関わらず、検査工程のキャパシティ不足が原因で増産に対応できない。

補助金の活用内容

AI搭載画像センサ自動判別機を導入

改善内容

AI搭載画像センサにて製品検査を行い、良品は梱包テーブルへ、不良品は不良品BOXへと機械を止めることなく自動で振り分けることが可能となり生産能力が向上



事業の効果、成果

- 検査工程の自動化により、精度の向上、検査工程に要する時間の大幅な削減及び作業員の負担が軽減され生産性が向上
- AIの学習機能により不良品排除基準が詳細かつ明確になっていくほか、画像診断データを保存することが可能となり、品質管理面でのサービス性も向上

2 適切な在庫管理による生産性向上及びトレサビリティの確立

事業概要

画像パーツカウンター及びデジタル秤を導入し、製品在庫をデータ管理

事業の課題・問題点

- ネジ類やセット部品の梱包を上皿天秤を使用して手作業で行っているため、作業効率が悪い。
- 手作業のため、バックデータなどのエビデンスがなく、クレーム発生時の対応や改善対策をとることが困難
- 毎日、作業員へ製品を余分に渡して梱包作業をしているため、正確な在庫数が管理できていない。

補助金の活用内容

パーツカウンター、デジタル秤、パソコン、ソフト

改善内容

事前登録した型式と、対象製品の形状を画像で確認し、梱包間違いや、異物混入を防げる。作業記録を画像データで保存可能なため、クレーム時の調査、追跡が可能。

事業の効果、成果

- デジタルパーツカウンター等により作業時間を大幅に削減
- 梱包時にバーコード付きのラベルを作成して貼り付け、システム上で管理することにより在庫引き当てが容易となったほか、正確な在庫数の把握も可能となった。

3 RFIDシステム導入による不良品管理の省人化

事業概要

RFIDシステムを導入し、製品タグと不良情報と紐づけてデータを管理

事業の課題・問題点

- 不良を確認した場合、不良内容を書き込んだ紙伝票及びリストを作成し、後程、データベースへ入力作業を行って報告書を作成しており、アナログデータからデジタルデータへの変換、内容確認等が必要で効率が悪い。



補助金の活用内容

PCの導入、RFIDシステムの構築、RFIDスキャナの導入

改善内容

製品のICタグと不良情報を紐づけてシステム上で管理。直接タブレットで不良内容と不良個所の画像等をRFIDシステムに保存し、ICタグをスキャンすることで、不良内容の確認が可能になる。

事業の効果、成果

- 直接RFIDシステムに入力することで、紙からの転記が不要となり、作業時間が短縮
- ICタグに不良情報を持たせることで、検索やピッキングも容易となり、不良品管理に要する時間も短縮
- システム上で不良部位別、不良内容別等の様々な観点での集計・分析も可能となった。

4 機器稼働状況の見える化による生産性向上

事業概要

複数の工作機械の稼働状況の見える化と適切な連携・運用による省エネ化と生産性向上

事業の課題・問題点

- 生産性の向上のための一部機器に偏った設備稼働率の増大により機器の故障リスクが増大
- 故障による長期間の設備停止で、生産性の低下や修理コストが増加



補助金の活用内容

工作機械稼働監視システム、タッチディスプレイ

改善内容

システム上で複数台のNC装置の稼働状況をリアルタイムで把握し、全体の稼働タイミングの最適化を図る。大型タッチディスプレイにて機器全体の稼働状況を表示。また、パトライトを設置し、パトライトの色分けにより一目で各機械の稼働状況を把握できるようにする。

事業の効果、成果

- 正確な稼働時間と停止時間の把握により最適な生産計画の作成が可能となった。
- 使用電力量等の把握、分析により、生産コストを低減
- パトライトにより一目で稼働状態が把握でき、問題発生時に迅速に対応できることで、無駄な停止時間を削減

5 無人加工の実現による生産性の向上

事業概要

営業時間外の無人加工により、価格競争力の高い生産体制を構築

事業の課題・問題点

- ・ 従業員が不在の時間は設備も止めており、加工高を稼げていない。
- ・ 休日も含めると、1月のうち70%の時間は設備が稼働していない。



補助金の活用内容

製造管理ソフトウェアの導入

改善内容

1加工ごとにオペレータによるNCプログラムの設定が必要であったものを、自動でNCプログラムの切り替えを行うソフトウェアの導入により、異なる製品の連続加工が可能となる。

事業の効果、成果

- ・ 夜間の無人加工により製造キャパの拡大及び投下労働費の削減により、単一製品当たりの製造原価が低減し、競合他社との価格競争力が高まった。
- ・ 製造キャパの拡大による受注量増及び売上原価低減により営業利益率が改善

6 営業活動のDX化

事業概要

DX化による高付加価値営業プロセスの構築及び見える化

事業の課題・問題点

- ・ 営業兼配送スタッフの活動の報告、連絡、相談は週1回のミーティングと紙媒体での簡単な報告のみ。
- ・ 各スタッフの活動成果は売上でしかわからず、取引先との折衝内容等の営業プロセスが把握できていない。
- ・ スタッフ間での情報の共有ができておらず、営業の成功モデルが不明瞭



補助金の活用内容

営業支援システムの導入

改善内容

営業支援システムを導入し、タブレット端末から営業活動の記録を入力できるようにする。顧客情報を一元管理し、営業活動管理の省力化を実施

事業の効果、成果

- ・ システム上で、顧客ごとのカルテを作成し、スタッフ全員で顧客情報を共有することが可能となった。
- ・ 活動報告をタブレットから入力できるようにし、省力化
- ・ 登録データから、営業プロセスを定量化し、分析が可能となった。



7 予約・接客業務の一元管理

事業概要

予約・接客業務の一元管理システムを導入し、生産性向上

事業の課題・問題点

- サービスの向上を重視するあまり、多くの部分を「人」に依存しているが、スタッフの高齢化や、労働人口の減少によりスタッフの確保が困難となっている。



補助金の活用内容	予約、接客業務の一元管理システムの導入
改善内容	顧客管理、予約管理、売上管理を一元管理できるシステムを導入し、これまで予約帳や売上传票等で紙管理していたものをデータで管理

事業の効果、成果

- 電話番号と顧客情報を連動し、電話着信時に予約情報等を自動表示させることで、検索時間を削減
- レストラン等において発生するオーダーもタブレットにより入力できるようにし、従業員の会計作業の負担を減少
- 顧客データやサービスの利用内容からニーズ分析を実施し、適切な誘客・営業活動が可能となった。

自動車販売整備業

8 全部門横断社内システムの導入によるサービス充実

事業概要

全社横断社内システムの導入による一元管理で生産性向上

事業の課題・問題点

- 顧客情報や業務進捗状況などが全社で共有できておらず、各部門間で情報伝達不足による営業機会の損失や無駄な業務負担が発生



補助金の活用内容	自動車販売整備業務支援システムの導入
改善内容	各部門、各支店で保有していた情報を一元管理し、顧客情報、販売傾向、作業進捗状況等の見える化、分析、リアルタイム共有を実施

事業の効果、成果

- 整備部門、営業部門がそれぞれで作成した情報をリアルタイムで把握し、見積り作成時間を大幅に短縮
- 顧客対応時間の短縮により、単位時間当たりの受け入れ能力が増加し、業務生産性が向上
- 整備工場稼働状況の可視化、整備作業の平準化により労働時間が削減でき、労働生産性も向上

9 入在庫管理システム導入による業務効率化

事業概要

エクセル管理からシステムによる管理への変更で入在庫を効率化

事業の課題・問題点

- ・ エクセルで在庫管理をしているが、倉庫にあるパソコンからしか確認できないことや、管理業務がエクセルを操作できる社員に属人化しており効率が悪い。エクセルの転記・入力ミスによる誤発注が多発
- ・ 在庫の保管場所は倉庫入り口に紙で張り出しているが、ピッキングの効率は社員の練度によって異なり、経験の浅い社員は時間がかかる。



補助金の活用内容

入在庫管理システムの導入

改善内容

管理システム上で「入荷予定データ」と「出荷指示データ」を管理し、ハンディ端末でシステム上の予定や指示を確認しながら入出荷時検品等を実施

事業の効果、成果

- ・ システムの予定や指示数量通りでなければ入在庫できないため、実数とシステム上の数に差異が生じない。
- ・ システム上で在庫の配置場所を管理するため、ピッキング時間が短縮され生産性が向上
- ・ 仕入販売管理システムとの連携により、加工日時、品種、個数、入出荷全てのログを取得でき、生産品の信頼性向上

10 出勤を要しない継続生産体制の構築

事業概要

出勤しなくても生産を継続できる環境を整え（BCP対策）、新しい生活様式等にも対応した継続生産体制を構築

事業の課題・問題点

- ・ 現状、現場でしか機器を操作できない状態であり、新型コロナウイルス感染症等により出勤できなくなると生産活動に大きな影響が出ることから、出勤しなくても生産を継続できる体制の整備が必要
- ・ 人材確保が困難となっており、従業員に制約がある人でも雇用できるビジネスモデルの構築が必要



補助金の活用内容

設計製造管理ソフトウェアの投入

改善内容

遠隔地からでも加工状況などを正確かつリアルタイムで把握できるようにするとともに、加工指示も出せるように改善

事業の効果、成果

- ・ 出勤しなくても操作が可能のため、在宅勤務やモバイルワーク等の働き方が選択可能となった。
- ・ 多様化する生活様式や、従業員の状況（自宅療養、介護、育児）等にも対応することで、人材確保にもつながり、継続生産体制が構築できたほか、持続的な成長発展についても効果が期待できる。

11 POSシステム導入による情報の一元管理で営業の効率化

事業概要

予約、カルテ、売上管理、販促、レジ会計を一元管理

事業の課題・問題点

- 「受付」、「WEB予約」、「会計」、「ポイントカード」、「集客」などの業務を、随時、別のシステムでデジタル化していたが、各システム間の情報のすり合わせは人手で処理しており、有効に活用できていない。



補助金の活用内容	POS・電子カルテシステムの導入
改善内容	複数システム上で入力される予約、受付、施術内容、会計等の情報をリアルタイムでクラウドに集約、分析し、瞬時に顧客動向や売上状況の正確な状況把握を可能とする。

事業の効果、成果

- 自動で個々の顧客ニーズに沿ったアプローチが提案される他、そのアプローチに対するレスポンスや、費用対効果も分析可能となり、効果的な販売促進ができる。
- 月に2回時間をかけて手作業で行っていた情報の擦り合わせが、都度、自動でされることにより、事務作業時間の大幅な削減につながり事業効率が改善